



Trend Vision One Email and Collaboration Security Cloud Email Gateway Protection InterScan MSS/IMSVA 移行ガイド

トレンドマイクロ株式会社

2024年05月

はじめに

- 本資料は、InterScan MSS/IMSVAからTrend Vision One Email and Collaboration Security Cloud Email Gateway Protection(V1ECS CEGP)へ設定情報を移行する内容について説明する資料です。
- 本資料は改訂日の情報を元に作成されているため、設定項目や記載されている画面イメージなどは現行のサービス内容とは異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

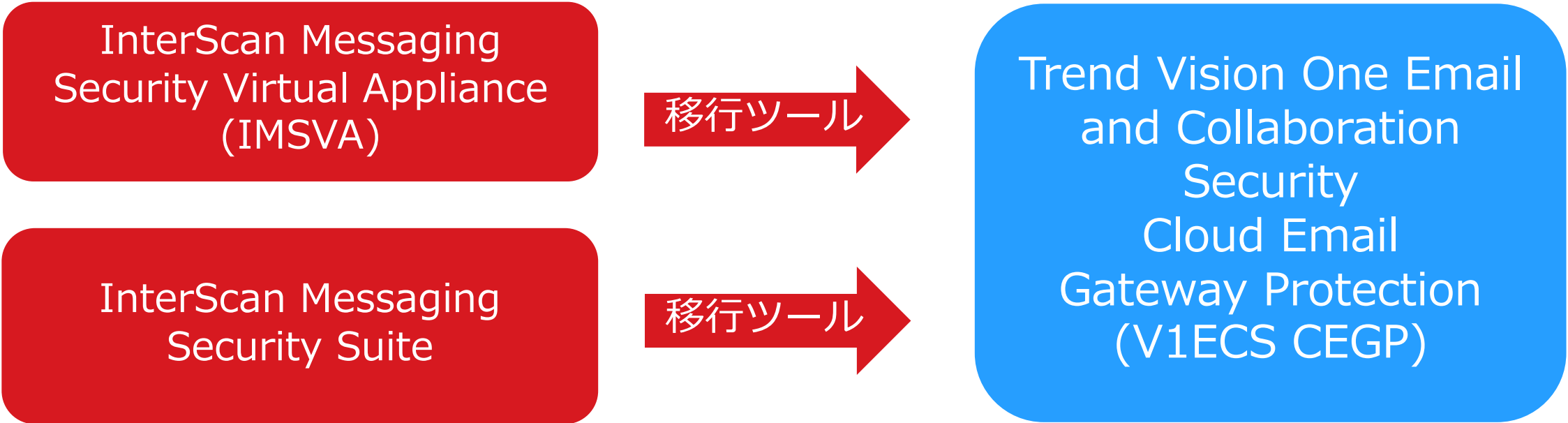
用語と略称

用語や略称	正式名称、または用語の意味
V1ECS	Trend Vision One Email and Collaboration Security
CEGP	Cloud Email Gateway Protection
InterScan MSS	InterScan Messaging Security Suite
IMSVA	InterScan Messaging Security Virtual Appliance
Vision One	Trend Vision One

改訂履歴

版数	改訂日	備考
第1版	2024/05/27	第1版として公開

移行対象：本資料の対象となる製品 InterScan MSS/IMSVA



移行全体フロー

移行全体フロー

STEP 1



STEP 2



STEP 3



STEP 4



STEP 5

前提条件、移行情報の確認

ご利用中の製品・バージョンおよび移行ツールで移行対象となる情報、対象外となる情報の確認

移行前作業の実施

InterScan MSS/IMSVAおよびCloud Email Gateway Protectionの移行前準備の実施

移行ツールの実行

移行ツールの実行、レポートの確認

移行後の確認作業

設定情報の確認、各種セキュリティポリシーの有効化

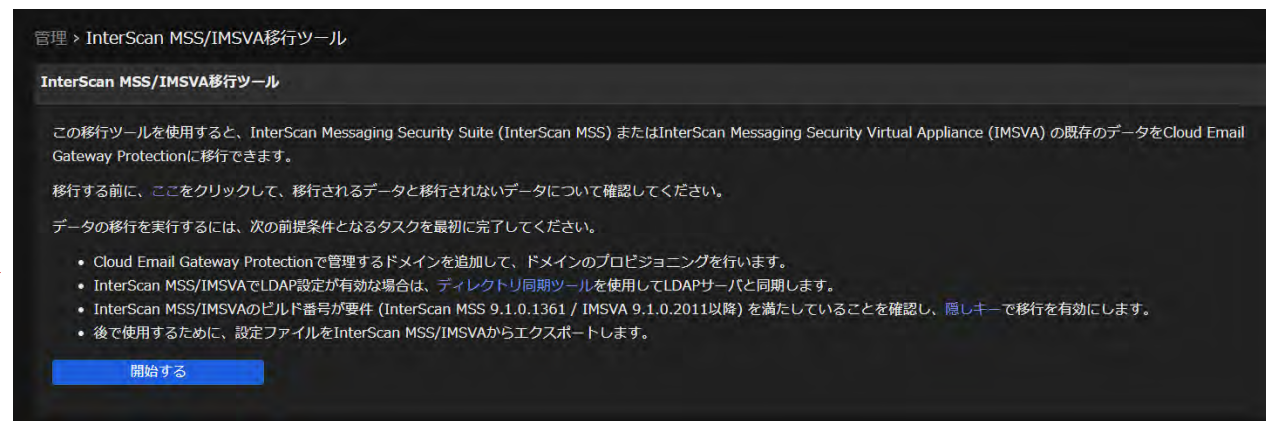
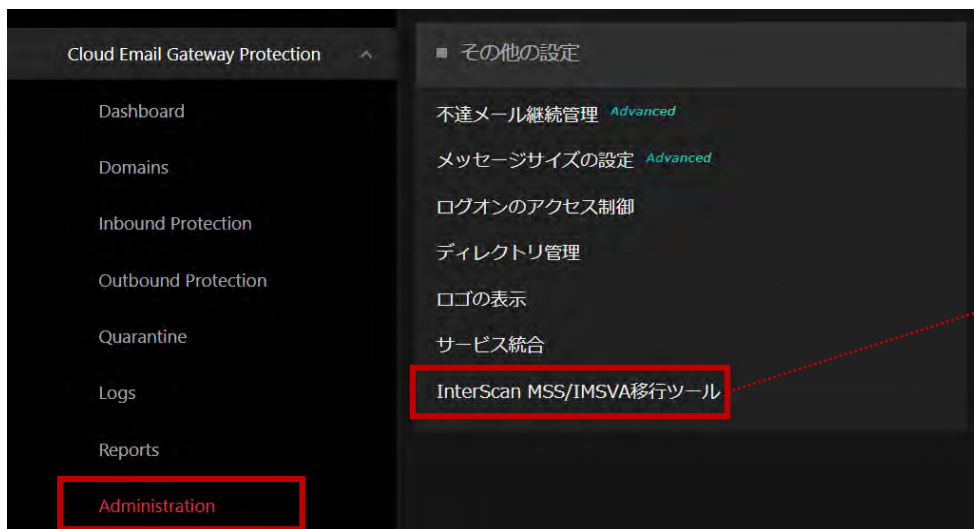
切り替え作業(メール経路変更)

設定した情報が正しく動作するかを確認いただき、DNSサーバの設定を変更してメール経路を切り替える作業を実施

移行ツールについて

移行ツールについて：移行ツール概要

CEGPではInterScan MSS/IMSVAの設定ファイルを移行(インポート)する機能を実装しています。こちらの機能・ツールについては、CEGPをご利用されるすべてのユーザー様に表示・実装されます (“**Administration**”項目の配下)。



オンラインヘルプ [InterScan MSSまたはIMSVAからのデータの移行]：

<https://docs.trendmicro.com/ja-jp/documentation/article/trend-vision-one-migrating-data-from-001>

移行対象バージョン

本書でご紹介しているCEGPの移行ツールを用いて設定情報を移行するには、以下製品・バージョンに加えて、特定のHotfixを適用する必要があります。
必要に応じ最新のPatchもしくはHotfixを適用してください。

製品名	移行対象ビルド	必要となるHotfix	備考
InterScan MSS 9.1 Linux Patch 1	9.1.0.1361以降 のビルド	Hotfix 1361以降	Hotfixは累積であるため、左記ビルド以降のHotfixであれば問題ありません。
IMSPA 9.1 Patch 3	9.1.0.2011以降 のビルド	Hotfix 2011以降	

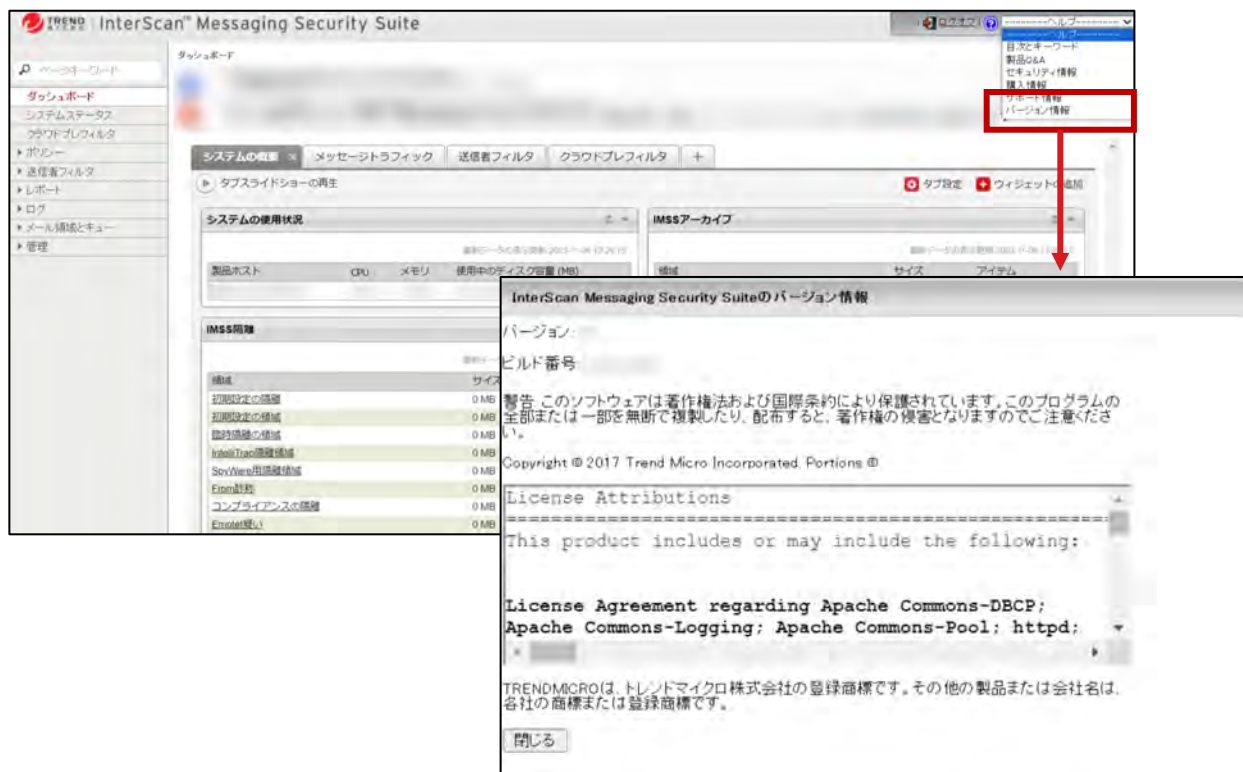
InterScan MSS 9.1 Linuxの最新版はこちらからダウンロードできます
<https://downloadcenter.trendmicro.com/index.php?regs=jp&prodid=1312>

IMSPA 9.1の最新版はこちらからダウンロードできます
<https://downloadcenter.trendmicro.com/index.php?regs=jp&prodid=1372>

参考 : InterScan MSS/IMSVAバージョン確認方法

InterScan MSS : [ヘルプ]→[バージョン情報]
 ※7.xのご利用のお客様は[概要]画面よりご確認いただけます。

IMSVA : [管理]→[システムとアプリケーション]



移行ツール機能制限

本移行ツールでは、InterScan MSS/IMSVAのすべての設定を移行することはできません。
そのため、移行対象の情報・移行対象外となる情報を、CEGPのオンラインヘルプ上に掲載しております。本ガイドにおいても移行に関する情報を掲載いたしますが、すべての設定を移行できない点については、ご注意ください。

移行できる情報：

<https://docs.trendmicro.com/ja-jp/documentation/article/trend-vision-one-data-that-will-be-mi>

移行できない情報：

https://docs.trendmicro.com/ja-jp/documentation/article/trend-vision-one-data-that-will-not-b_001

※こちらのオンラインヘルプは、どなたでもアクセス可能なURLとなっております。

移行前準備： InterScan MSS / IMSVA

移行前作業 : InterScan MSS/IMSVAで必要な作業

CEGPで移行ツールを実行する前に、InterScan MSS/IMSVA側で以下の作業が必要となります。

※P.8に掲載している“前提条件”を満たしている必要がありますので、ご注意ください。

1. InterScan MSS/IMSVAのコンソールに“**root**”ユーザでログインし、以下のコマンドを実行

InterScan MSS :

```
# /opt/trend/imss/PostgreSQL/bin/psql imss sa -h 127.0.0.1 -c "insert into tb_global_setting (section, name, value, inifile) values ('imp_exp', 'enable_ems_migrate', '1', 'imss.ini');"
```

IMSVA :

```
# /opt/trend/imss/PostgreSQL/bin/psql imss sa -c "insert into tb_global_setting (section, name, value, inifile) values ('imp_exp', 'enable_ems_migrate', '1', 'imss.ini');"
```

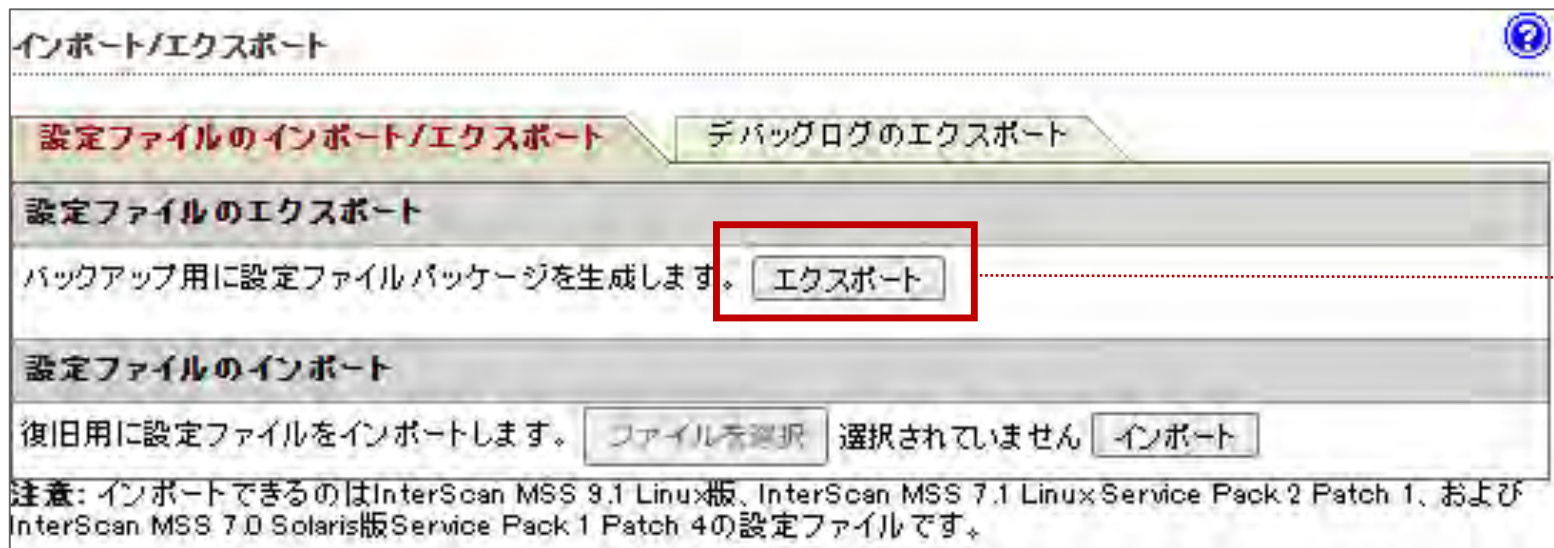
※上記コマンドの実行は、既存のメール処理に影響はなく、サービスの再起動なども必要ありません。

移行前作業 : InterScan MSS/IMSVAで必要な作業

2. 管理画面から設定ファイルのエクスポート

InterScan MSS/IMSVA共通 :

[管理]→[インポート/エクスポート]→“エクスポート”ボタンをクリック



エクスポートされる
“.dat”ファイルを保管します

※本手順でエクスポートした設定ファイルは、通常のバックアップファイルとしても利用可能です。

移行前準備： Cloud Email Gateway Protection

移行前作業 : CEGP

移行ツール実行前に、CEGP側で事前に必要な作業は以下となります。

1. Vision Oneアカウントの作成(製品版または体験版の準備)

→体験版の環境であっても移行ツールの実行は可能です。

2. CEGPの初期設定(プロビジョニングウィザード)の実施、完了

3. 移行対象となるドメイン情報をCEGP上に登録

→InterScan MSS/IMSVAで保護対象となっているドメイン情報をCEGPに登録

4. 移行対象のドメインを管理するDNSサーバにCEGPのTXTレコードを登録

→"3."で登録するドメインのTXTレコード(tmes=xxxx)をDNSサーバに登録し、ドメインを確認

5. LDAP設定/ディレクトリ同期ツールのインストール

→InterScan MSS/IMSVAでLDAP設定を実施している場合の作業となります。

移行前作業：CEGP Vision Oneアカウントの作成

既存のアカウントでVision Oneにログインするか、あらたにアカウントを作成します。

- Vision Oneのアカウント作成

■ Trend Vision Oneの無料体験版

<https://resources.trendmicro.com/jp-vision-one-trial.html>

■ V1ECSのアクティベーションリンクを入手

弊社から電子納品されたV1ECSの「証書」に記載された「アクティベーションリンク」からTrend Micro Activation にアクセスします。

<https://success.trendmicro.com/jp/solution/000289592>

※初期設定の詳細につきましては、
[別紙]Cloud Email Gateway Protection_技術者向け資料_評価ガイドまたは
オンラインヘルプをご参照ください

移行前作業：CEGP

移行対象ドメインの登録

CEGPの初期設定が完了しましたら、InterScan MSS/IMSVAで保護対象となっているドメイン情報を定義します。**[Cloud Email Gateway Protection]→[Domains]** を選択後、赤枠で囲っている“**追加**”ボタンを選択することで、ドメイン情報を追加することができます。

The screenshot displays the Trend Vision One interface for managing domains. The main page shows a search bar and a table with columns for 'ドメイン名' (Domain Name), '受信サーバ' (Receiving Server), and '送信サーバ' (Sending Server). A red box highlights the '追加' (Add) button. A modal window titled 'ドメインを追加' (Add Domain) is open, showing the following fields:

- ドメイン名:** @<ドメイン名> (with a note: 追加するサーバで管理されるメールアドレスのアットマーク記号 (@) の右側にある文字をすべて入力してください。)
- 初期設定のドメインレベルのポリシーの作成をスキップする
- 受信サーバ:** [Field]
- 送信サーバ:** [Field]
- 送信保護を有効にする
- 送信サーバの指定:** Office 365, Google Workspace, ユーザー定義のメールサーバ

移行前作業：CEGP DNSサーバへTXTレコードの登録

移行対象ドメインの登録が完了しましたら、ドメインの情報欄に表示される“**確認方法**”を選択し、表示される文字列(tmes=xxxxx)をドメイン管理しているDNSサーバにTXTレコードとして登録します。

ドメインの編集

全般

受信サーバ

送信サーバ

全般

ドメイン名: [redacted]

追加するサーバで管理されるメールアドレスのアットマーク記号 (@) の右側にある文字をすべて入力してください。

ドメインが確認されました。確認方法をチェックします。

1 ドメインのDNS設定に次のTXTレコードを追加します。

tmes=[redacted]

2 [確認] をクリックします。 確認

問題がある場合は、代わりにMXレコードを追加してみてください。

注意: DNSの変更が有効になるまで時間がかかる場合があります。定期的にCloud Email Gateway Protectionによって変更がチェックされます。

初期設定のドメインレベルのポリシーの作成をスキップする

受信サーバ

*	Host	Port
	@ryokatest.net	25

受信サーバが確認されました。詳細な設定をチェックします。

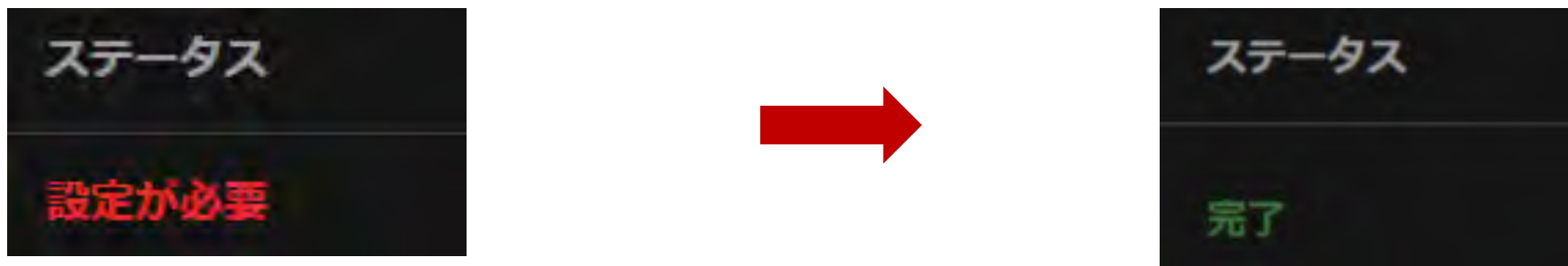
保存 キャンセル

この値をDNSサーバに登録します。

※ドメイン毎に情報が異なり、ドメイン毎に登録が必要となります。

移行前作業：CEGP DNSサーバへTXTレコードの登録

DNSサーバにTXTレコードの登録が完了すると、ドメインの“ステータス”が“設定が必要”から“完了”へ変わります。移行ツール実行前にこのドメインのステータスが“完了”になっていることを確認してください。



※DNSサーバへのTXTレコードの登録・確認が完了していない状態で移行ツールを実行すると、一部情報が正しく反映されませんので、ご注意ください。

移行前作業 : CEGP LDAP設定/ディレクトリ同期ツールのインストール

InterScan MSS/IMSVAにて、LDAP設定を実施されている場合、移行ツールでは情報が移行されませんので、個別に設定いただく必要がございます。CEGPでは、“ディレクトリ同期ツール”をご提供しており、こちらのツールを用いて、連携作業を実施いただく必要がございます。[Cloud Email Gateway Protection]→[Administration]→[ディレクトリ管理]より、連携に必要なツールおよびユーザガイドをダウンロードすることができます(詳細はユーザガイドをご参照ください)。

ダウンロード	
名前	バージョン
ディレクトリ同期ツール	2.0.11002
ディレクトリ同期ツールユーザガイド	2.0.11002
REST APIクライアント	1.0.0.10021
REST APIオンラインヘルプ (英語)	

オンラインヘルプ情報[ディレクトリ同期ツールのインストール] :

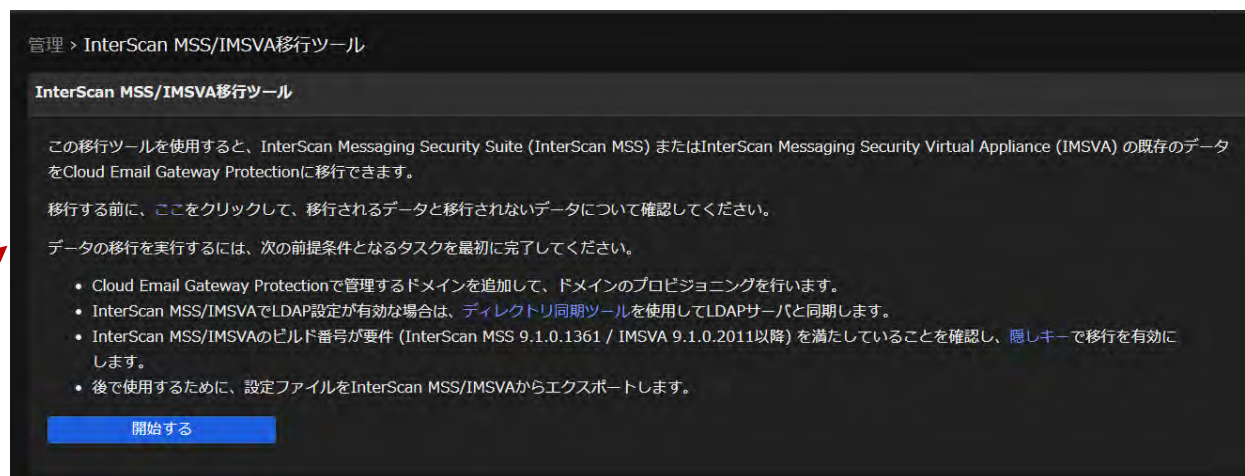
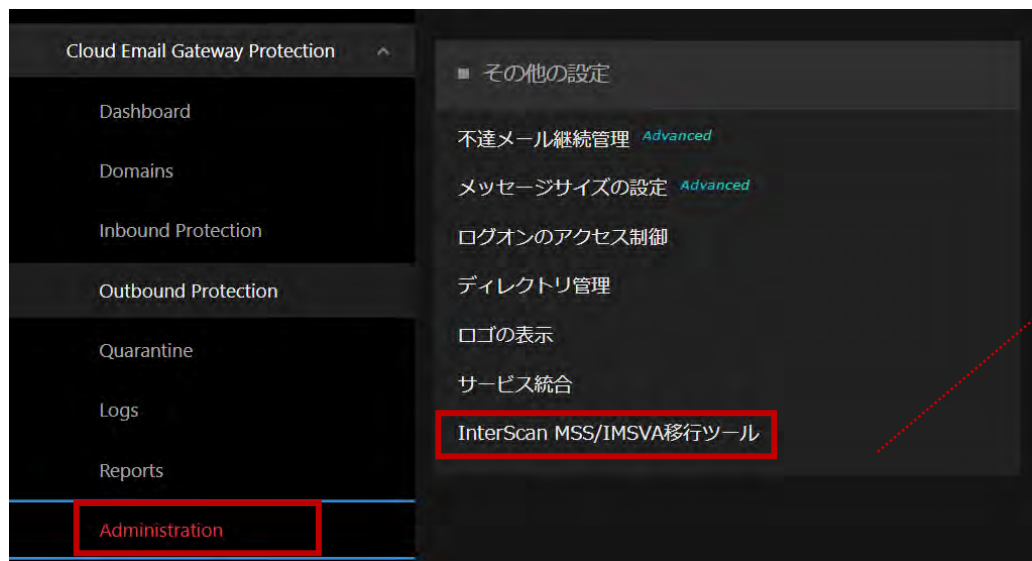
<https://docs.trendmicro.com/ja-jp/documentation/article/trend-vision-one-installing-active-di>

移行ツールの実行

移行ツールについて：移行ツール概要

VisionOneコンソールより、

[Cloud Email Gateway Protection]→[Administration]→[InterScan MSS/IMSVA移行ツール]と選択し、“**開始する**”をクリックすると、移行ツールを実行することができます。



移行ツールの実行：設定ファイルのアップロード

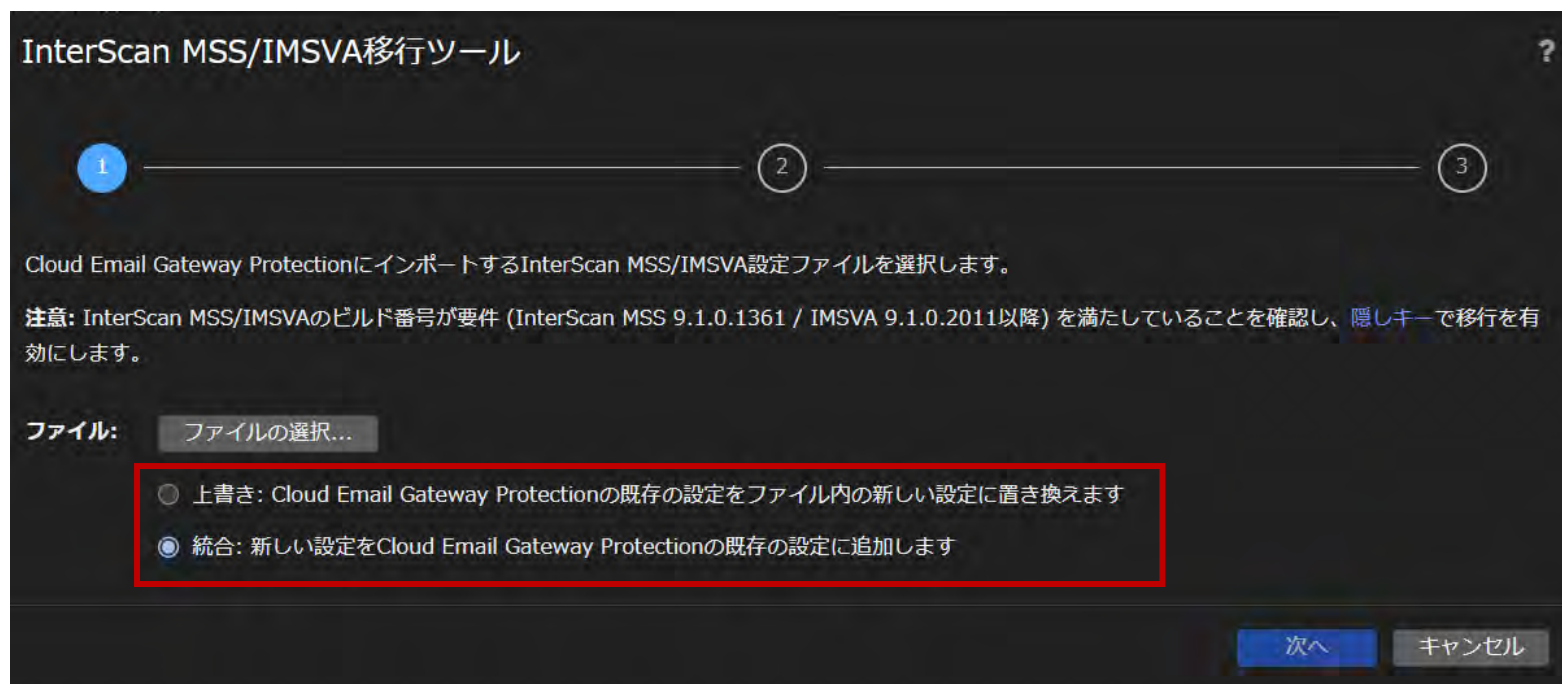
[開始する]ボタンをクリックすることで、移行ツールを実行するためのウィザードが表示されます。ここでInterScan MSS/IMSVAの設定ファイルを選択し、アップロードします。



ファイル: ファイルの選択... Config_Files_20240522_153925.dat (369.33 KB) ✕

移行ツールの実行：上書き / 統合について

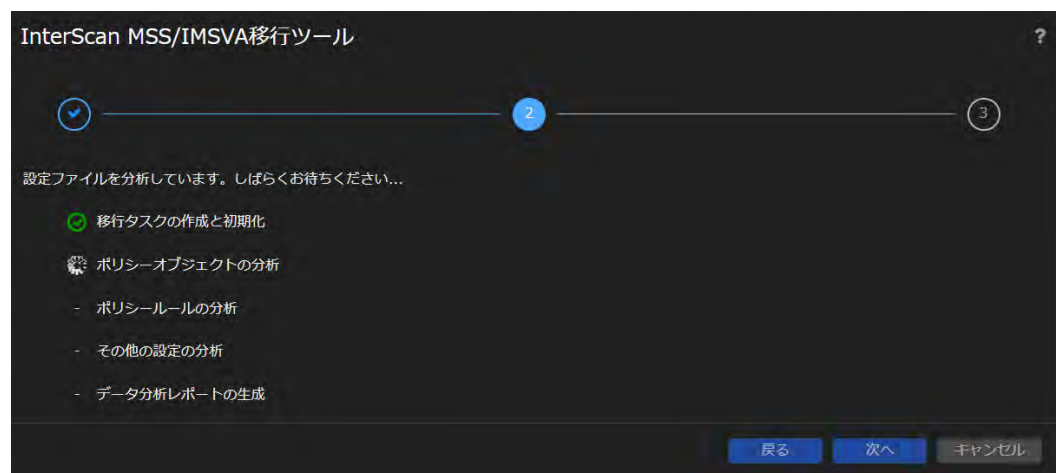
移行ツールで設定ファイルをアップロードした後に、“上書き”または“統合”を選択することができます。“上書き”を選択した場合は、CEGPの既存設定をInterScan MSS/IMSVAの設定に置き換える動きとなり、“統合”を選択した場合は、CEGPの既存設定にInterScan MSS/IMSVAの設定を追加する動きとなります。



標準では、“統合”が選択されてる状態となります

移行ツールの実行：設定ファイルの分析

設定ファイルをアップロードし、次に進むと設定ファイルの分析が始まります。
なお、この分析処理では設定移行は行われません。分析が完了すると、移行できる項目・
移行できない項目の情報を表示します。



ここで"次へ"を選択すると設定移行が行われます

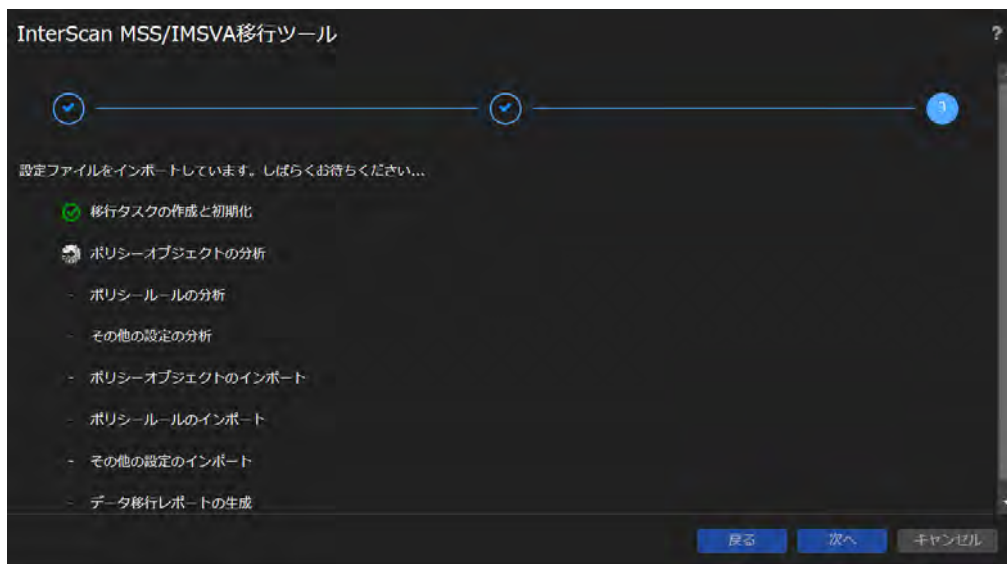
参考：設定ファイル分析結果画面について



項目名	内容
サポート対象外	CEGP側でサポートされない形式(設定は移行されません)
エラー	CEGPへ移行できない内容が含まれていることを示しています(移行できない内容は変更または削除して移行されます)
警告	そのままではCEGPへ移行できない内容を含んでいることを示しています(内容を自動的に修正して移行されます)
成功	CEGPへ移行できる内容を示しています(そのまま設定が移行されます)

移行ツールの実行：設定移行

設定ファイルの分析が完了し、次に進むとCEGPへ設定移行が行われます。設定移行が完了しましたら、“完了”を選択します。



※レポートについては、P.39～に情報を掲載しています

移行ツールの実行：移行ツール実行後

移行ツール実行後、“完了”を選択すると、以下の画面に戻ります。
なお、本移行ツールについては、回数制限を設けていないため、何度でも実行することができます。

InterScan MSS/IMSVA移行ツール

この移行ツールを使用すると、InterScan Messaging Security Suite (InterScan MSS) またはInterScan Messaging Security Virtual Appliance (IMSVA) の既存のデータをCloud Email Gateway Protectionに移行できます。

移行する前に、[ここをクリックして](#)、移行されるデータと移行されないデータについて確認してください。

データの移行を実行するには、次の前提条件となるタスクを最初に完了してください。

- Cloud Email Gateway Protectionで管理するドメインを追加して、ドメインのプロビジョニングを行います。
- InterScan MSS/IMSVAでLDAP設定が有効な場合は、[ディレクトリ同期ツール](#)を使用してLDAPサーバと同期します。
- InterScan MSS/IMSVAのビルド番号が要件 (InterScan MSS 9.1.0.1361 / IMSVA 9.1.0.2011以降) を満たしていることを確認し、[隠しキー](#)で移行を有効にします。
- 後で使用するために、設定ファイルをInterScan MSS/IMSVAからエクスポートします。

開始する 前回の移行: 2024/05/22

[レポートのダウンロード](#) レポートの有効期限: 2024/08/20

移行ステータスの表示 ⓘ

“開始する”を選択すると、再度移行ツールを実行することができます。

移行ツールの実行 : 移行ツール実行ログ

移行ツールの実行に関するログについては、[Cloud Email Gateway Protection]→[Logs]→[監査ログ]より確認することができます。

日時 ↓	ユーザ	イベントの種類
2024/05/22 06:53:27	[Redacted]	InterScan MSS/IMSVAの設定のインポートを完了
2024/05/22 06:50:38	[Redacted]	InterScan MSS/IMSVAの設定のインポートを開始
2024/05/22 06:43:39	[Redacted]	InterScan MSS/IMSVAの設定の解析を開始

監査ログの詳細

ユーザ: [Redacted]

イベントの種類: InterScan MSS/IMSVAの設定の解析を開始

日時: 2024/05/22 06:43:39

フィールド	新しい値	以前の値
ファイル名	Config_Files_20240522_153925.dat	
処理	統合	
作成日時	2024/05/22 06:43:38	

閉じる

移行後の作業、注意点

移行後の作業、注意点

移行ツールを実行しましても、DNSのMXレコードをCEGPに変更しない限り、メールがCEGPを経由することはありません。移行ツール実行後は、各種設定情報が正しくCEGP側に反映されているかをご確認いただき、確認が完了しましたら、メール経路の切り替えを実施することを推奨いたします。

1. Vision Oneコンソール上でCEGP設定情報の確認
2. 各種セキュリティポリシーの有効化

設定情報の確認

移行ツール実行後、[Administration]→[ポリシーオブジェクト]で設定確認を進めます。なお、各種ポリシー画面に“移行ステータス”という項目が追加され、“成功”または“修正が必要です”というメッセージが表示されます。



実行順序	ステータス	ルール	移行ステータス	処理	組織レベル	変更日時	最終使用日時
1	✖	DDEIにBCCでメール送信	修正が必要です	処理なし	はい	2023/11/06	なし
2	✔	TMEMS Migration Test Policy	成功	隔離	はい	2023/11/06	なし
3	✔	パスワードで保護された添付ファイルの初期設定ルール	成功	スタンプ ...	はい	2023/11/06	なし
4	✔	パスワードで保護された添付ファイルの検索ルール (例外処理)	成功	スタンプ ...	はい	2023/11/06	なし

オンラインヘルプ[移行後のデータの確認] :

<https://docs.trendmicro.com/ja-jp/documentation/article/trend-vision-one-verifying-data-after>

設定情報の確認

“成功”となっているポリシーについては、問題なく移行されポリシーも有効化(ステータスが緑の表示)されている状態となりますが、ルール名を選択し、正しく内容が反映されているかをご確認ください。

受信保護設定 > コンテンツフィルタ

送信者: メールアドレスまたはドメイン 受信者: メールアドレスまたはドメイン ルール: ステータス: すべて 条件の種類: すべて レベル: すべて 移行ステータス: すべて

検索

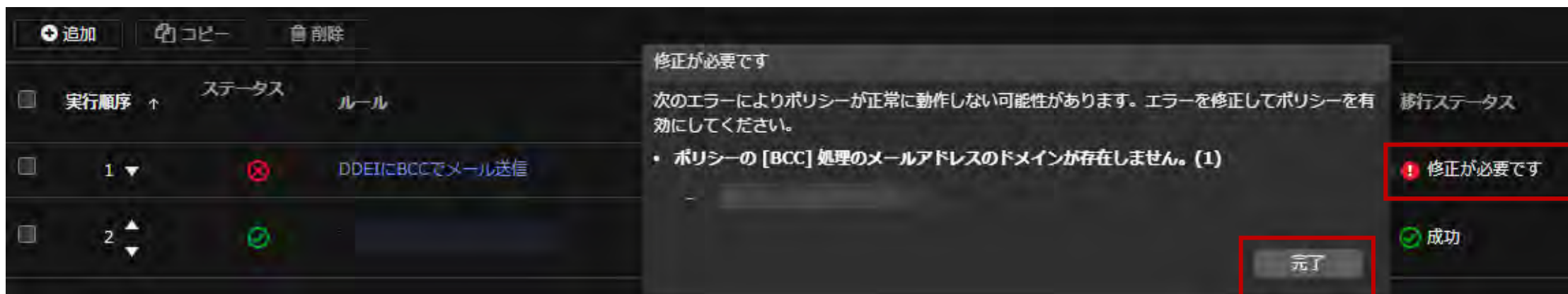
追加 コピー 削除 表示: 1 - 8 / 8 | 10 件/ページ

実行順序	ステータス	ルール	移行ステータス	処理	組織レベル	変更日時	最終使用日時
1	✖	DDEIにBCCでメール送信	✖ 修正が必要です	処理なし	はい	2023/11/06	なし
2	✔	TMEMS Migration Test Policy	✔ 成功	隔離	はい	2023/11/06	なし
3	✔	パスワードで保護された添付ファイルの初期設定ルール	✔ 成功	スタンプ ...	はい	2023/11/06	なし
4	✔	パスワードで保護された添付ファイルの検索ルール (例外処理)	✔ 成功	スタンプ ...	はい	2023/11/06	なし

設定情報の確認

“修正が必要”となっているポリシーについては、ポリシーが無効化(ステータスが赤の表示)された状態となります。修正内容を確認いただき、修正・削除が完了しましたら、“完了”ボタンをクリックすることで、ステータスを“修正済み”に変更することができます。

エラー表示例：



“!”のアイコンをクリックすると、必要な修正内容が表示されます。

各種セキュリティポリシーの有効化

ポリシーが無効化(ステータスが赤の状態)になっているポリシーを有効化するには、“**ステータス**”のアイコンをクリックすることで、有効化することができます。

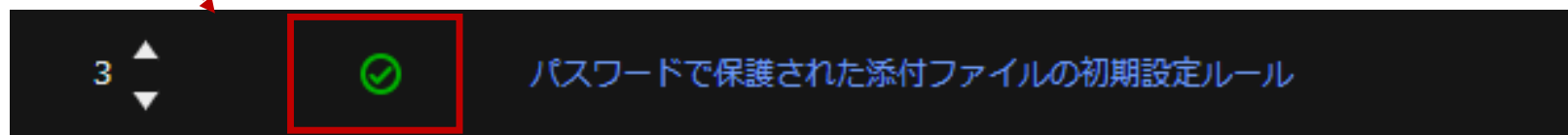
受信保護設定 > コンテンツフィルタ

送信者: メールアドレスまたはドメイン 受信者: メールアドレスまたはドメイン ルール: ステータス: すべて 条件の種類: すべて レベル: すべて 移行ステータス: すべて

検索

追加 コピー 削除 表示: 1 - 8 / 8 | 10 件/ページ

実行順序	ステータス	ルール	移行ステータス	処理	組織レベル	変更日時	最終使用日時
1	⊗	DDEIにBCCでメール送信	⚠ 修正が必要です	処理なし	はい	2023/11/06	なし
2	✔	TMEMS Migration Test Policy	✔ 成功	隔離	はい	2023/11/06	なし
3	⊗	パスワードで保護された添付ファイルの初期設定ルール	✔ 成功	スタンプ ...	はい	2023/11/06	なし
4	⊗	パスワードで保護された添付ファイルの検索ルール (例外処理)	✔ 成功	スタンプ ...	はい	2023/11/06	なし



参考情報

参考 : CEGP Core/Essential/Proの機能比較

分類	機能	Core	Essential	Pro
送信者の真正性	送信者認証(SPF/DKIM/DMARC)	○	○	○
	IPレピュテーション	○	○	○
迷惑メール(SPAM)対策	アンチスパム	○	○	○
BEC/なりすまし対策	AIでのヘッダー・ボディ精査による”なりすまし”対策	○	○	○
ウイルス対策	アンチウイルス	○	○	○
	機械学習型検索	○	○	○
	ファイルサンドボックス	○	○	○
	ファイルパスワード解析機能	○ (PPAPも対応)	○ (PPAPも対応)	○ (PPAPも対応)
	コンテンツ無害化	○ (Office文書のみ)	○ (Office文書のみ)	○ (Office文書のみ)
不正URL対策	Webレピュテーション	○	○	○
	URLクリック保護/URLリライト機能	○	○	○
	URLサンドボックス	×	○	○
コンテンツフィルター	実ファイルおよび拡張子によるコンテンツフィルター	○	○	○
コンプライアンス	情報漏えい対策	○	○	○
運用管理	不達メール継続管理	×	○	○
	メール暗号化	×	○	○
	EUQ (エンドユーザ隔離) 機能	○	○	○
	ログ転送 (Syslog/API)	Syslog	Syslog	Syslog
その他	最大メッセージサイズ	50MB	150MB	150MB
事後対策	XDR (Email Sensor)	オプション	オプション	○

データ分析レポートについて

データ分析レポートについて

移行ツール内で表示されていたエラーやInterScan MSS/IMSVAの環境情報について、CEGPの移行ツール画面より、PDF形式のレポートとしてダウンロードできます。

InterScan MSS/IMSVA移行ツール

この移行ツールを使用すると、InterScan Messaging Security Suite (InterScan MSS) またはInterScan Messaging Security Suite (InterScan IMSVA) のデータを Cloud Email Gateway Protection (CEGP) に移行できます。

移行する前に、ここをクリックして、移行されるデータと移行されないデータについて確認してください。

データの移行を実行するには、次の前提条件となるタスクを最初に完了してください。

- Cloud Email Gateway Protectionで管理するドメインを追加して、ドメインのプロビジョニングを行います。
- InterScan MSS/IMSVAでLDAP設定が有効な場合は、[ディレクトリ同期ツール](#)を使用してLDAPサーバと同期します。
- InterScan MSS/IMSVAのビルド番号が要件 (InterScan MSS 9.1.0.1361 / IMSVA 9.1.0.2011以降) を満たしていることを確認してください。
- 後で使用するために、設定ファイルをInterScan MSS/IMSVAからエクスポートします。

開始する 前回の移行: **2024/05/22**

レポートのダウンロード レポートの有効期限: **2024/08/20**

移行ステータスの表示 ⓘ



レポートがダウンロードできる有効期限は、移行ツール実行後、90日となります。なお、本レポートは世代管理されておらず、直近で実行した内容のみが含まれています。

データ移行レポートについて

データ移行レポートは以下のような内容となっており、移行データ以外にも、移行対象製品(InterScan MSS/IMSVA)のバージョンやビルド情報、移行ツール実行後のフォローアップ手順が含まれています。

目次

1 このレポートについて

2 基本情報

3 用語リスト

4 レポートの概要

> 5 詳細なレポート

6 次の手順

基本情報画面例：

2 基本情報

生成されたレポート	2024/05/22 06:50:39 (UTC)
Cloud Email Gateway Protectionアカウント	[REDACTED]
移行モード	統合
InterScan MSS/IMSVA設定ファイル	Config_Files_20240522_153925.dat
InterScan MSS/IMSVAのバージョン	IMSS 9.1 Linux
InterScan MSS/IMSVAのビルド番号	1417
InterScan MSS/IMSVAの言語	ja

